デジタル田園都市国家構想交付金事業実績

資料３

タイプ　地方創生推進タイプ（横展開型）
事業名　「フェンシングのまち沼津」推進を契機とした観光・地域産業活性化によるスポーツツーリズム推進事業
担当課　ウィズスポーツ課

＜事業の概要＞
　行政、競技団体、観光協会等の関係団体による「フェンシングのまち沼津推進協議会」を立ち上げ、観光とフェンシングを楽しめるツアーパックの企画や、市内企業・学校とコラボレーションしたフェンシング関連グッズの開発、市内への競技普及啓発と競技人口の拡大、シンボルとなる有望選手の育成などに取り組み、フェンシングの拠点都市として本市のブランドを確立させるとともに、フェンシングを通じたスポーツツーリズムによる交流人口の拡大を図り、地域産業の活性化に繋げる。

＜計画期間＞　令和２年度から令和６年度（５年間）

＜令和２年度の事業実績＞

事業費（交付額）　4,234,677 円（1,885,097 円）
Proud NUMAZU CUP フェンシング選手権 2020 小学生大会の開催、フェンシングのまち沼津 PR 動画やロゴマークの制作、シンボルフェンサーの育成、競技環境の整備

＜令和３年度の事業実績＞

事業費（交付額）　13,364,446 円（2,969,778 円）
拠点施設となる F3 BASE の運営、日本代表合宿の開催（複数回）、全国大会の開催、オリジナル T シャツの販売、スマートフェンシングの指導者育成パッケージの作成

＜令和４年度の事業実績＞

事業費（交付額）　7,136,685 円（3,568,341 円）
拠点施設となる F3 BASE の運営、日本代表合宿の開催（複数回）、全国大会の開催、フェンシングガイドブックの作成、スマートフェンシングの指導者講習会の開催

＜令和５年度の事業実績＞

事業費（交付額）　8,837,000 円（4,091,564 円）
拠点施設となる F3 BASE の運営、日本代表合宿の開催（複数回）、全日本選手権大会の開催、フェンシングオリジナルグッズの作成、スマートフェンシングの指導者講習会の開催

＜令和６年度の事業実績＞

事業費（交付額）　4,355,000 円（2,005,457 円）
拠点施設となる F3 BASE の運営、日本代表合宿の開催（複数回）、大人向けフェンシング体験会の開催、スマートフェンシング機材の購入、スポーツ指導者確保に向けた講演会、域内消費キャンペーン

＜数値目標及び実績＞

	事業開始前		R2	R3	R4	R5	R6	KPI 増加分の累計
フェンシング大会及び合宿の開催に伴う観光交流客数	0 人	目標	120 人	90 人	60 人	1000 人	150 人	1,420 人
		実績	451 人	709 人	280 人	4,560 人	0 人	6,000 人
沼津市で開催されるフェンシング大会及び合宿実施回数	3 回	目標	3 回	1 回	2 回	3 回	1 回	10 回
		実績	10 回	1 回	1 回	8 回	0 回	20 回
フェンシング大会及び合宿参加者への購買調査結果	0 千円	目標	2,400 千円	100 千円	1,100 千円	2,500 千円	1,000 千円	7,100 千円
		実績	1,200 千円	1,200 千円	3,620 千円	2,990 千円	2,980 千円	9,010 千円
市フェンシング Facebook ページの投稿記事の年間閲覧人数	10 千人	目標	8 千人	6 千人	6 千人	3 千人	1 千人	24 千人
		実績	72 千人	16 千人	0 人	0 人	0 人	88 千人

＜事業全体の評価＞

拠点施設（F3 BASE）を活用した合宿や全国規模の大会開催により、観光交流客数は目標を大きく上回ることが出来た。今後も全国規模の大会を継続的に開催し、「フェンシングのまち沼津」のブランドとともに関係者への定着を図っていく。また、合宿においてもリピートで訪れる団体がほとんどであり、今後も継続して合宿誘致に努める。一方、Facebook については頭打ちの状態になっており、効果的な情報発信方法や発信頻度を見直す必要がある。

タイプ　地方創生推進タイプ（横展開型）
事業名　複業人材を活用したDX推進による市内産業の魅力向上プロジェクト
担当課　産業政策課

＜事業の概要＞

行政をはじめ、金融機関・商工団体により構成された相談窓口を設置し、企業のDX化のための支援体制を強化し、経常的に企業と複業人材をつなげるマッチングが可能な体制づくりを図る。また本事業を通じてDX化を図る企業の取組等を「複業を通じた当市でのビジネスチャンス」の発信の契機と捉えプロモーションを図ることで、感度の高い市外企業などを市内でDXに取り組む企業の視察ツアーや当市のコワーキングやサテライトオフィスの整備環境等の視察を通じて誘引し、効率的な企業誘致へとつなげる。

域外からの人材・企業誘引へと注力するとともに、誘致企業と市内デジタル人材のマッチングによる人材流出の防止や、市内企業を対象とした社内のデジタル人材育成講座を開催することで、域内での人材確保・育成を図る。

＜計画期間＞　令和５年度から令和７年度（３年間）

＜令和５年度の事業実績＞

事業費（交付額）　1,344,000円（672,000円）
複業人材マッチング支援対象企業向けワークショップの開催

＜令和６年度の事業実績＞

事業費（交付額）　4,489,300円（2,244,650円）
複業人材マッチング支援対象企業向けワークショップおよびIT企業向け市内体験型視察ツアーの開催

＜今後の計画＞

令和７年度	複業人材マッチング支援およびIT企業向け市内体験型視察ツアーの開催

＜数値目標及び実績＞

	事業開始前		R5	R6	R7	KPI 増加分の累計
本事業を通じてDXに取り組んだ市内企業数	0	目標	5社	10社	15社	30
		実績	3社	10社	15社	28
沼津市内体験型視察ツアーへの参加社数	0	目標	0社	15社	30社	45
		実績	0社	3社	5社	8
本事業を通じて当市で拠点を開設した企業	0	目標	2社	3社	4社	9
		実績	2社	3社	4社	9
沼津市デジタル人材育成プログラムへの参加	0	目標	0社	15社	30社	45
		実績	0社	58社	30社	88

＜令和６年度の実績評価＞

令和６年度より実施した沼津市内体験型視察ツアーについて、参加社数の達成ができなかったものの、参加した企業に応じて視察先を選定したことにより、沼津市での具体的なイメージを持つことができたとの声があった。市内における拠点開設の促進に寄与する事業であったと考えられるため、次年度はより幅広く周知を行うことにより KPI 達成を目指す。その他の KPI についてはおおむね達成している。

タイプ　地方創生推進タイプ（横展開型）
事業名　デジタルプラットフォームでつなぐまちづくりの担い手ネットワーキング事業
担当課　まちづくり政策課

＜事業の概要＞
市内企業にオープンイノベーションを促す企画を実施し、地域課題をビジネスにより解決しようとする新しい事業展開等を導くことで、まちづくりへの参画を促す。市民の方には、まちへの関わりを創出し、各人のまちづくり活動への参画を図る。また、これら企業や市民の活動をまちづくりデジタルプラットフォームの導入によって可視化し、相互につなぐことで、ネットワーキングする。

＜計画期間＞　令和６年度から令和８年度（３年間）

＜令和６年度の事業実績＞

事業費（交付額）13,240,000 円（6,295,600 円）
企業版リノベーションスクールの実施、沼津市リノベーションまちづくり実行協議会の運営、まちづくりデジタルプラットフォームの導入・運営

＜今後の計画＞

令和７年度	１年目の成果を示しながら、市内の既存団体等のネットワークを使って更なる参画を促し、事業の波及に取り組む。また、導入したまちづくりデジタルプラットフォームにより、市内のまちづくりの動きや、まちづくりに取り組む企業の可視化に取り組む。

＜数値目標及び実績＞

	事業開始前		R6	R7	R8	KPI 増加分の累計
市内企業による新たな事業プロジェクト創出数	0	目標	5	10	10	
		実績	7			
市民が企画するまちづくりプロジェクト創出数	0	目標	5	10	15	
		実績	7			
まちづくりデジタルプラットフォームの登録者数	0	目標	100	200	300	
		実績	101			

＜令和６年度の実績評価＞
全ての数値について計画目標数を達成したことは、本事業で展開した各種施策や構築した人的ネットワークが、後に続く事業等に結びついたものと考えられる。次年度にもオープンイノベーションを促す企画の実施等を予定しており、引き続き目標達成に向けて取り組んでいく。

タイプ　デジタル実装タイプ（TYPE1）
事業名　シームレスな移動を可能にする交通データプラットフォーム連携事業
担当課　まちづくり政策課

＜事業の概要＞
　駐車場の規模や事業者に限らず満空情報を統一的に表示する可視化、バス停や駐車場等からのシームレスな移動手段の情報に加え地域の観光・イベント情報などを統一されたユーザーインターフェイスで市民にも観光客にもわかりやすく提供できるサービスの構築を行い、市内の回遊性を向上させる。

＜計画期間＞　令和６年度（１年間）

＜令和６年度の事業実績＞

事業費（交付額）　11,346,500 円（5,673,000 円）
鉄道・バス経路検索アプリへ観光情報や飲食店情報を付加し、移動と観光情報を一元化するとともに、アプリに中心市街地エリアの駐車場満空情報を提供した。モビリティデータプラットプラットフォームにて提供できるサービスを構築、運用した。

＜数値目標及び実績＞

	事業開始前		R6	R7	R8	KPI 増加分の累計
ジョルダン乗換案内アプリの沼津観光 MaaS 適用累計数	0	目標	13,230 UU			
		実績	(44 日間) 3,812 UU (1 年間推計) 31,620 UU			
ジョルダン乗換案内アプリの沼津観光 MaaS 駐車場案内コンテンツの平均閲覧数	0	目標	3,969			
		実績	(44 日間) 926			
沼津観光ポータルアクセス数	0	目標	2,800,000			
		実績	2,574,979			
市政策に対する市民の満足度	0	目標	2.8			
		実績	3.0			
市内中心市街地の駐車場利用分散の計測	0	目標	100			
		実績	測定不能			
ジョルダン乗換案内アプリの沼津観光 MaaS サービスの満足度	0	目標	2.8			
		実績	3.6			

＜事業全体の評価＞

鉄道・バス経路検索アプリへ観光情報や飲食店情報を付加し、移動と観光情報を一元化した。モビリティデータプラットプラットフォームにて提供できるサービスを構築した。運用期間が短く目標値に達していない項目もあるが、サービスの継続により認知度が向上するものと思われる。回遊性の向上につながるよう内容等の検討を行っていく。

タイプ　デジタル実装タイプ（TYPE1）
事業名　行政手続きのオンライン拡張事業
担当課　ICT 推進課

＜事業の概要＞
「ぴったりサービス」の活用が困難な「基本四情報の全てを必要としない手続」及び「法人を対象とした手続」でオンライン申請ができる仕組みを提供し、多くの手続のデジタル完結を推進することで、住民の利便性向上と行政運営の効率化を図る。

＜計画期間＞　令和６年度（１年間）

＜令和６年度の事業実績＞

事業費（交付額）　1,329,240 円（664,620 円）	
Logo フォームの導入（使用料@110,770 円×12 か月）	

＜数値目標及び実績＞

	事業開始前		R6	R7	R8	KPI 増加分の累計
オンライン申請対応手続数	－	目標	10 件	30 件	40 件	－
		実績	239 件	－	－	－
オンライン申請の割合	－	目標	35%	45%	55%	－
		実績	47.6%	－	－	－
オンライン申請の満足度	－	目標	5ﾎﾟｲﾝﾄ	6ﾎﾟｲﾝﾄ	7ﾎﾟｲﾝﾄ	－
		実績	7.0ﾎﾟｲﾝﾄ	－	－	－

＜事業全体の評価＞
令和６年度では、庁内 28 部署において、住民向けの申請フォーム 239 件が作成されるなど、当初の予測を大きく上回って行政手続のオンライン化が普及した。また、住民からのオンライン申請の割合が 47.6%と初年度の目標を 12.6 ﾎﾟｲﾝﾄ上回っており、想定以上にニーズがあることが伺えた。満足度としても 10 段階で平均 7.0 ﾎﾟｲﾝﾄと既に３か年後に設定した目標値に到達しており、住民側にとっても分かりやすいＵＩ、ＵＸを備えたサービスを導入できたと評価できる。
特に、従前まで電話、ＦＡＸ等で実施されていたイベントの参加受付に関するフォームが多く作成され、デジタル完結できるようになっており、住民の利便性向上と行政運営の効率化を図ることができた。
今後の課題として、法人認証を活用した申請フォームの作成実績が１件に留まっていることから、法人の利便性向上を図るため、特に法人を対象とした手続きを所管する部署にオンライン化を働きかけていく必要がある。